

東京都立葛飾総合高等学校 令和6年度 言語文化 年間授業計画

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～E組
 教科担当者：(A組：奥田) (B組：奥田) (C組：奥田) (D組：奥田) (E組：奥田)
 使用教科書：(高等学校標準言語文化(第一学習社))

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の見方や考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わりたり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		言語	読						
1学期	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読書のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 読話というジャンルについて理解する。 ・教材 『兄のそら寝』 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・読話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	8
	定期考査							1	
	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読書のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 古典特有の世界に触れると共に、昔の物語が現代にまで継承されていることを知る。 ・教材 『竹取物語』 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまり(動詞の活用)について理解する。	○	○	○	10
定期考査							1		
【伊勢物語 筒井筒】 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って歌物語のおもしろさを読み取ろうとしている。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割と読み解き方を理解する。 ・教材 『伊勢物語 筒井筒』 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			・歌物語という文章の種類を踏まえて、話の中で和歌が果たしている役割を抑え、読み解き方を理解する。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまり(動詞・助動詞)について理解する。	○	○	○	9	
定期考査							1		
【古文を読むために】 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力】 自分の思いが効果的に伝わるよう、語句や表現の仕方を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者と進んで関わろうとしている。	・指導事項 古典和歌の修辭法について理解する。 ・教材 『古文を読むために』 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。	○		・和歌の修辭法など、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解し、文章の中で適切に使うことができる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・言葉を通して他者と積極的に関わろうとしている。	○	○	○	4	
2学期	定期考査						1		
【Iwasborn】 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方を捉え内容を解釈している。 ・作品の解釈を踏まえて、自分の意見や考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ、価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者と関わろうとしている。	指導事項 散文詩に親しみ、「Iwasborn」がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・教材 『Iwasborn』 ・語彙を調べる。課題の提出。		○	・散文詩の形式など、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解し、作品を味わうことができる。 ・作品を鑑賞し、言葉を通して自分の意見や考えを他者と交流できる。	○	○	○	5	
【羅生門】 【知識及び技能】 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ、価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者と関わろうとしている。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。	指導事項 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老翁の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材 『羅生門』 ・語彙を調べる。課題の提出。		○	・文章の種類、時代背景を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。	○	○	○	15	
定期考査							1		

